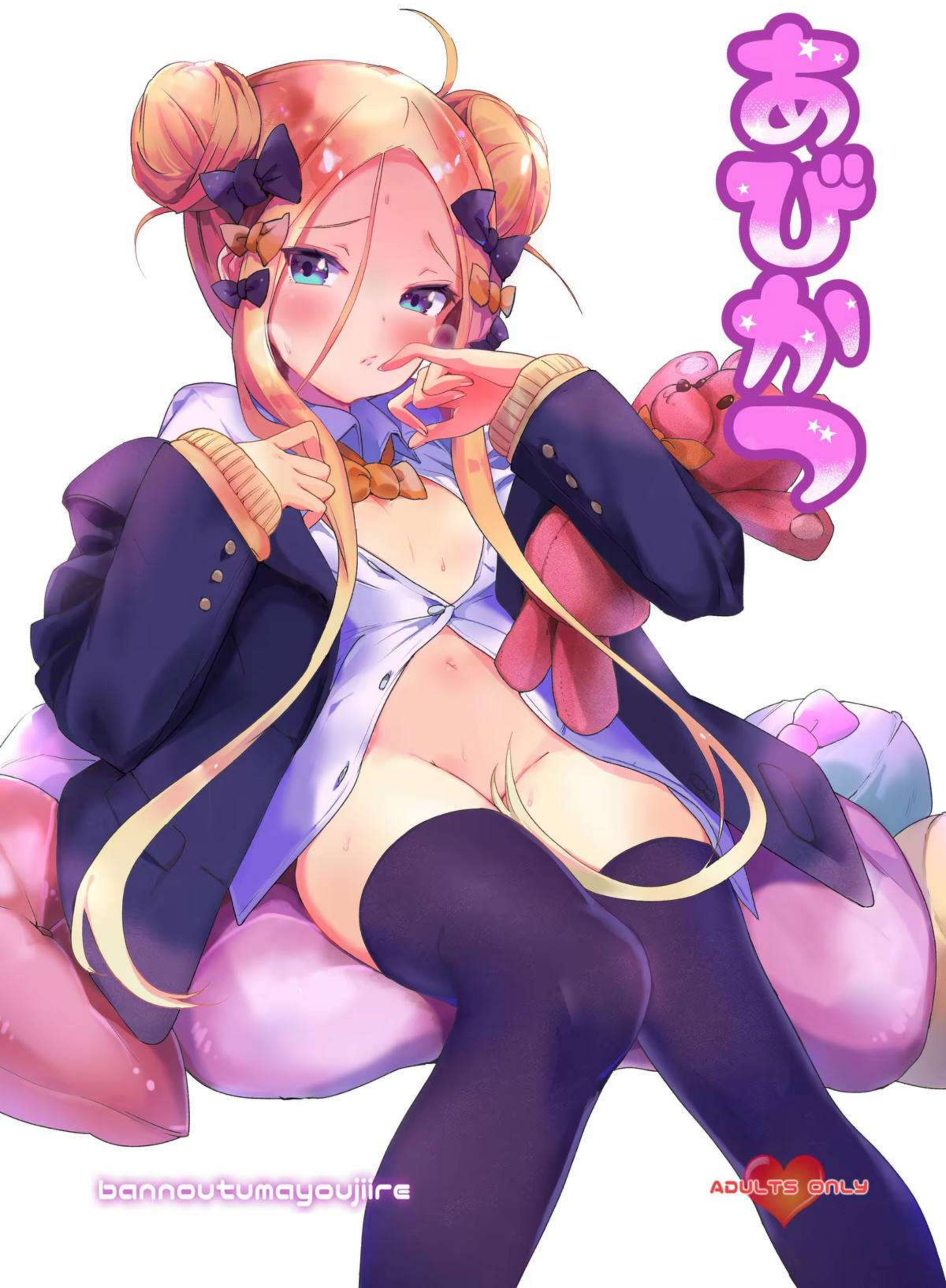




あびが



-はじめに-

平素よりお世話になっております

こんにちは、微糖です
何冊目かのあびーちゃん本です

今まで板タブコミスタ勢でしたが！
iPadクリスタ勢になりました！
なんかオシャレでいいよね！

アップル系OS不慣れなせいで使いこなすのは
まだまだ先になりそうですが、描いている時の
姿勢の悪さは微増しました
いや一液タブのように描けるのたのしい…

クリスタなんですが、コミスタでの昔取った杵柄で
ほぼそのままやれちゃう感じ、いい

あとは使い方もっと慣れたり
何かいいブラシ無いかな～なんて思いながらの
制作でした

そんな近況です

某所某日

日々勉強に
励み学校に
通う毎日

変わり映えのない
日常に退屈
していた

だけどある日の
ことだった

転校生
長くしなやかになびく
眩しい金色の頭髮

宝石のような蒼い瞳と
白い肌をしたその子
そこに立っているだけで
周囲が色付いて見えた

一目見て
心を奪われた

何が好きなんだろう
どんなことしてるんだろう
僕はそんなことばかり考える
ようになった

彼女のことを
もっと知りたい！

詳しくはわからないが
ちよつと変わった事情が
あるようだった

地方を転々としている
ようでここにいるのも
いつまでかわからないとか

またおでこに
なにかつけてる…

最初のうちは
やたらと話しかけられ
ていたが
今は落ち着いている

出身はどこか外国の
遠い所らしく
色々和不慣れのように
距離を取っている
ように見えた

あと時々ぼんやりと周りに
何か見える気がするけど
他の人に話しても
わからないと言われた

僕が眼科検診行った方が
いいのかそれとも…とりあえず
だまっておくことにした
そんな彼女の謎の多さは
より一層僕を引き付けた

僕だけにしか見えない
一面がある……!

そう考えてみるとの僕と彼女
のつながりのようなものを感じる

彼女と秘密を
共有した僕らは
色々あって
いい仲になれたり

きっと冗談じゃなく
異世界とかから来た子
だった……!

そしたらそしたら
あの子とこんな
ことになったり
しちゃったりとか……!?

フフ

あん♡

なーんて
出来すぎたこと
期待してる僕って……

っていつか
まだ話したと
ないし

あ



その日はいつもより
ずっと濃く見えていた

ひどく苦しそうにして
浅く何度も息を
漏らしていた

頬が紅潮し
小刻みに体を
震わせていた…

体調がすぐれないのか何なのか…
僕は彼女に
釘付けになっていた

と言うか

艶っぽい姿に
僕は体が熱くなって
きていたのだった
もっと見ていたい

普段なら心配する人が
声をかけてもいいのだが
そうする人は不思議と
いなかった

すると

!?

驚いたことに
彼女は

おもむろに自分の
股に手を入れて
まさぐっていた

ぐん

ぐん

もぞ

もぞ

恍惚の表情を
浮かべながら
浸っている

あ

は

吐息に混じり
小さく喘ぎ声も
聞こえてきた





突然の彼女の
痴態に思っていたほど
狼狽していた
訳じゃない

あのさ

ずっと
思ってきた
ことだった

ちよつと
汚れてるけど…

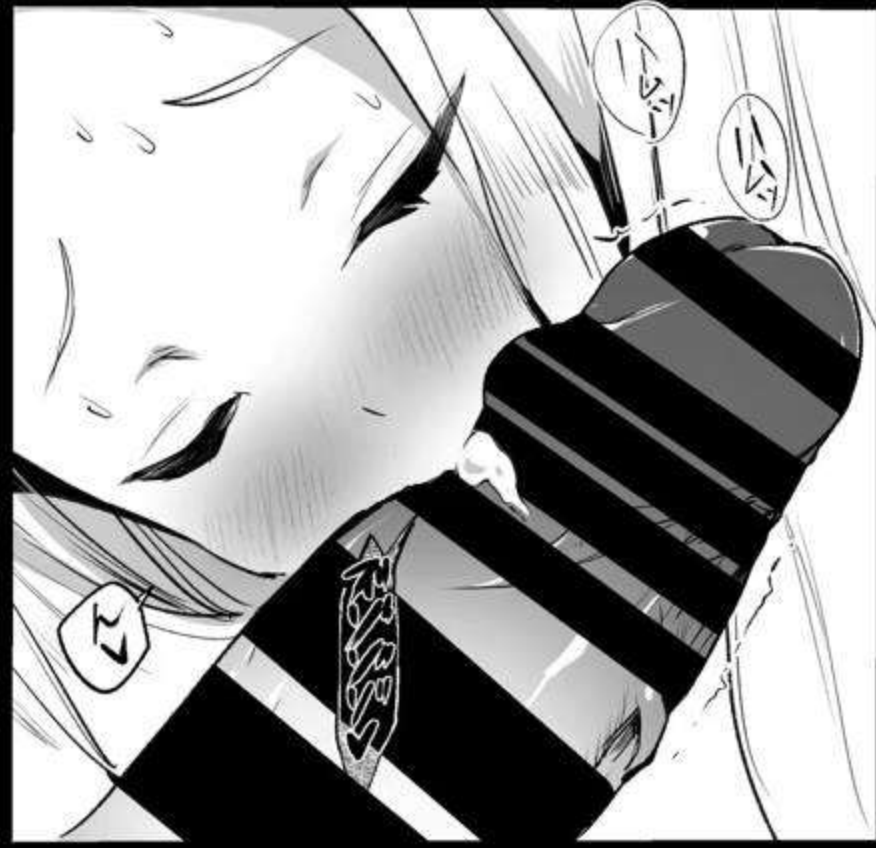
あこがれの女の子に
恥垢をなめとらせて
いることが

い
や

か…皮ムいて

ほしい…

背徳感と合わせり
自身をさらに
興奮させた







彼女も待ち望んでいた
であろう僕のを
深く体に突き刺す…!!



小刻みに体を
脈打ち痙攣するたび
達したことを知る



入れた瞬間から
信じられないくらい
中が熱くうねるように
律動する

腰を打ち付ける
ごとに滝のように
あふれる汁

ああ
あ

ん
おお
ん

彼女の体が全力で
快楽を求め
僕の精子を求めて
いるのがわかる

不思議な力が
働いているのか
いつもよりずっと
張ったまま

むせかえるような
快感と匂いの中僕は

気を失うまで
精を吐き続けた

いくらでも
この中を満た
せる確信

うつすらと思い出せた
光景は彼女が
何をしていたかまでは
わからなかったが

んんん

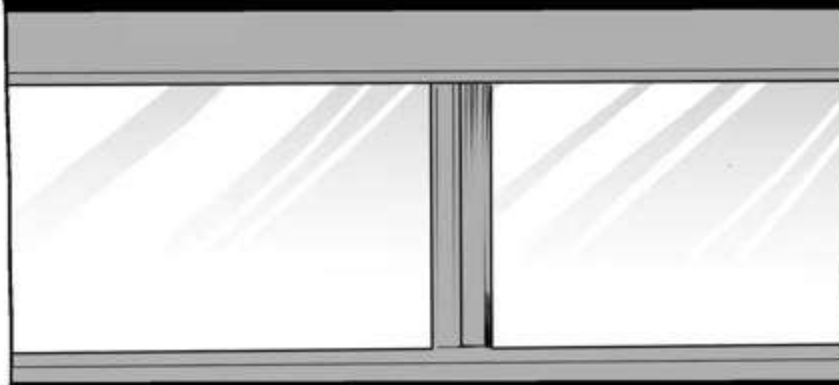
だけどきつと彼女に
とってそれが必要な
ことだったというのはわかった

やっぱりあの子は
別の世界からきたようだった



また
いつもの
風景

何てことの
ない日常が
戻ってきた



きっと僕はもう
必要なくなつて
しまったのだろう

探し物は
もう見つけて
しまったようだから



もしもまた
次会えることが
あったらその時は
ふつうに話したり
してみたい

その時までには彼女の
気が引けるような
趣味でもはじめてみようか
そんなことを思った



おわり

-あとかき-

お手に取っていただき
誠にありがとうございます

様々な方の協力のもと
ここに至り感謝です

珍しく描きたいこと多くて
困りました…！
もっと上手になりたいー
色々と

駄文失礼いたしました
今後とも何卒よろしく
お願い申し上げます

-奥付-

発行日:2021/12/30
発行人:微糖
連絡先:twitter【bitoumaturi】

印刷所:太陽出版 様



2021 winter